配布資料

教育長定例記者会見

日時：令和８年 10 月 22 日（木）11：00
場所：会見室

＜広報事項＞

〇令和８年 10 月－11 月の広報事項＜教育委員会＞　・・・・２

＜話題提供＞

〇　県立学校における過剰な苦情・不当な要求などに関する
　　対応指針の策定について（教職員課）　・・・・５

〇　信楽高校が目指す新たな挑戦！！
　～信楽のまちから全国へ　生徒の「つくりたい！」をカタチに～　・・・７

〇　栗東高校第 30 期生　卒業制作展『Who am I?』　・・・・８

令和８年10月～11月の広報事項＜教育委員会＞

日時（期間）	タイトル	内容・会場	所属	問い合わせ先（担当者名、電話・内線番号）
随時（申込団体の希望する日時）	プラネタリウム学習	総合教育センターでは、各季節の星の見え方や星座物語をプラネタリウムで解説し、小学校や園（所）における天体についての学習を支援します。 ・会　場：滋賀県総合教育センター　本館 ・参加料：無料 ・対　象：小学生・幼児 ・内　容：希望に応じます ・申込み：滋賀県総合教育センターＨＰ参照	総合教育センター	科学教育係 077-588-2511
９月～11月	「しがの高校をリ・デザインする 県民ワークショップ」の開催について	これからの滋賀県の高校について、中学生・高校生やさまざまな立場のみなさんで考えるワークショップを開催します！ 高校のいいところや課題について語り合い、これからの学びや環境、地域とのつながりなどを見つめ直し、一緒に滋賀県の高校の未来を描いてみませんか？ みなさまのご参加をお待ちしております！ ・日時・場所：eしんぶん参照（全６回） ・時間：各回13:30～16:00予定 ・対象：どなたでも参加できます ・事前申込：各回開催日の３日前まで ・参加費：無料 ・その他：会場へお越しの際は、できるだけ公共交通機関のご利用にご協力ください。 （eしんぶんURL） https://www.pref.shiga.lg.jp/edu/hodo/bosyu/352174.html （申込URL） https://forms.gle/ooVdGkfDLw36xYAw5	魅力ある高校づくり推進室	糸原 077-528-4578 （内線4578）
10月26日（月） 10月29日（木） 11月18日（水） 9:30～11:30	教員へのファーストステップセミナー（第５回～第８回）	学校現場で働くことへの第一歩となるセミナーを開催します。教職の魅力や服務・免許の説明、学校見学に加え、個別相談等を行う予定です。 第５回：大津市立粟津中学校 第６回：東近江市立能登川南小学校 第７回：県立聾話学校 第８回：県立八幡高等学校	教職員課	田中　美穂 077-528-4534 （内線4545）
令和８年10月20日（火） 15:30～16:30	令和８年度　教職員見学乗船	令和８年度児童学習航海の乗船指導に際し、新船の内部構造の理解や船内設備の使用方法について研修を行い、びわ湖学習を体験することで、びわ湖フローティングスクールの教育方針および教育内容についての理解を深めるとともに、探究的な学びと育ちのある安全な学習航海が展開できるようにします。 ・会場：学習船「うみのこ」 ・参加者：県内の見学を希望する教職員等	びわ湖フローティングスクール	坂口　竜太 077-524-8225

令和８年10月～11月の広報事項＜教育委員会＞

日時（期間）	タイトル	内容・会場	所属	問い合わせ先（担当者名、電話・内線番号）
令和８年10月26日（月） 10：50～11：30	令和８年度 学習船「うみのこ」火災による緊急着船対応避難訓練	学習船「うみのこ」での火災発生を想定して、乗組員（船員・食堂職員・フローティングスクール所員）ならびに乗船校引率教員が連携して避難誘導・消火活動を迅速かつ的確に行い、児童の安全を確保できるよう訓練します。 ・会場：学習船「うみのこ」 ・参加者：当日乗船する学校	びわ湖フローティングスクール	坂口　竜太 077-524-8225
10月27日（火）～11月１日（日）	第47回滋賀県高等学校総合文化祭	滋賀県高等学校文化連盟に加盟する高等学校文化部が県内各地で発表・展示を行います。開催部門は、合唱、吹奏楽、器楽・管弦楽、日本音楽、演劇、美術・工芸、書道、写真、囲碁、将棋、放送、新聞、自然科学、小倉百人一首かるた、弁論、文芸、軽音楽です。 ＊詳細は高等学校文化連盟事務局まで、電話にてお問い合わせください。	滋賀県高等学校文化連盟事務局（県立長浜北星高等学校内）	事務局長 小宮　直 0749-63-5590
10月28日(水) 13:30～14:20	コミュニケーション講話について	英語落語パフォーマーの方をお招きして、コミュニケーション講話を行います。最後には生徒全員が英語小話に挑戦します。 ・会場：本校体育館 ・対象：本校1年生	草津高等学校	川北　裕美 077-562-1220
（基準日） 10月29日（木）・10月30日（金）	滋賀県高等学校秋季総合体育大会	高等学校教育の一環として高等学校生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツの精神の高揚をはかり、心身ともに健全な高等学校生徒を育成するとともに、相互の友情と連携を深めるために、この大会を開催する。 会場：県内各会場 ※基準日以外に開催する競技もあるため、詳細は県高等学校体育連盟事務局までお問い合わせください。	保健体育課 県高等学校体育連盟	山田　收彦 077-528-4621（内線4621）
11月14日（土） 9:00～11:00	復興庁主催出前授業の実施について	復興庁の職員を講師としてお招きし、東日本大震災からの被災地の復興の現状、放射線に関する基礎知識及び今後の課題等について学びます。グループワークも実施し、自分たちに今できること、災害時にどう行動すべきかについても考えます。 ・会　場：膳所高等学校　視聴覚教室 ・対　象：本校第１学年～第３学年の生徒希望者約30名	膳所高等学校	教頭 阿武朗広 SSH推進室 畦﨑光 077-523-2304

令和８年10月～11月の広報事項＜教育委員会＞

日時（期間）	タイトル	内容・会場	所属	問い合わせ先（担当者名、電話・内線番号）
11月14日(土) 10:00～12:10	県立八幡商業高等学校 創立140周年記念大会	明治19年(1886年)創立の滋賀県立八幡商業高等学校が、今年度創立140周年を迎えます。「輝く未来を創る～誇りとともに～」をスローガンに、記念大会をおこないます。 10:00　１部：記念式典 11:10　２部：生徒発表 会場：近江八幡市文化会館 大ホール	県立八幡商業高等学校	池川　準人 0748-32-2072
令和８年11月23日(月・祝) 9:00～15:10	令和８年度　学習船「うみのこ」親子体験航海	びわ湖フローティングスクールは、学校教育の一環として、滋賀県内の小学５年生を対象に、母なる湖・琵琶湖を舞台にして、学習船「うみのこ」を使った体験型の教育を展開しています。また、ふるさと滋賀や琵琶湖の自然を体感し、その素晴らしさに気づいたり、びわ湖学習を通して琵琶湖の現状を知り、環境について考えたりして、環境に主体的に関わる力の育成を図っています。 滋賀県が誇るこの教育事業の意義を、関西広域連合参加府県市の住民に普及させるために、学習船「うみのこ」親子体験航海を実施します。親子のふれ合いの場を提供するとともに、体験的な場を提供することを目的としています。 ・会場：学習船「うみのこ」 ・参加者：当選された方	びわ湖フローティングスクール	坂口　竜太 077-524-8225
11月11日（水）～15日（日） 9：30～17：00 最終日は15:00まで	栗東高校美術科第30期生卒業制作展	栗東高校美術科第30期生が3年間の集大成として作品の制作を行いました。作品には生徒それぞれの専門分野の絵画表現・立体造形・クラフトデザイン・ビジュアルデザインで個性あふれる作品を鑑賞いただけます。 会場＝栗東文化会館さきら小ホール 対象＝どなたでも	栗東高等学校	松村　隆行 (077-553-3350)
11月20日（金） 18：00～19：00	令和９年度湖南市立甲西中学校夜間学級第２回入学希望者説明会の開催	湖南市立甲西中学校夜間学級の令和９年度第２回入学希望者説明会を開催します。夜間学級の概要、生徒募集についての説明および施設見学等を行います。 ・会　場：湖南市立甲西中学校 ・対　象：夜間学級に入学を考えている人 （御家族、支援者等の同伴可）	幼小中教育課	寺﨑　雅人 077-528-4665 （内線4665）
11月25日(水) 11月26日(木) 10:15～11:15 少雨決行	高等部 後期花販売活動	地域の方に、高等部生が園芸で育生したパンジー・ビオラの販売、窯業で作成した干支ピック・小皿・置物等の販売をします。 場所　①新旭町太田会館　②新旭養護学校	新旭養護学校	教頭 松原功明 0740-25-6810

滋賀県教育委員会

記者発表資料

提供年月日：令和８年（2026 年）10 月 22 日
部 局 名 ：教育委員会
所 属 名 ：教職員課
係 名：服務・免許係
担 当 者 名 ：小濱、和田
連 絡 先 ：077-528-4531
E－m a i l ：ma03@pref.shiga.lg.jp

公立学校教職員に対するカスハラ実態調査結果について

「学校における働き方改革等に関するアンケート調査」の中で調査
調査手法:インターネット調査
調査期間:令和８年７月２日～令和８年９月７日
調査対象:県内の県費負担教職員
有効回答数:8,715人（回答率約70%）

（結果概要）
・回答者の約32%が「自身が受けたことがある」と回答し、約41%が「自身は受けたことはないが、見たことはある」と回答。
・頻度としては「年に数回」が約42%で一番多く、1回あたりの対応時間は「1時間～2時間」が約34%で一番多いという結果になった。

１　県立学校における過剰な苦情・不当な要求等の防止について

県教育委員会では、教育内容や学校運営について、教育上の重要なパートナーである保護者や地域住民等の皆様に十分な説明を行い、ご理解いただけるよう努めているところです。

しかしながら、教職員が日々の業務の中で、保護者や地域住民等から学校では対応が困難な要求や、社会通念上許容される範囲を超えた言動を受けて、勤務環境が悪化したり、学校における教育活動に影響が及ぶことがあります。

また、令和８年10月１日には改正労働施策総合推進法が施行され、すべての事業主に対して職場におけるカスタマー・ハラスメントを防止するために講ずべき措置等が義務化されました。

これらのことから、県教育委員会では「県立学校における過剰な苦情・不当な要求等の防止等に関する指針」を策定しました。

教職員への過剰な苦情・不当な要求等が生じた場合には毅然とした態度で組織的に対応します。

２　学校における過剰な苦情・不当な要求等の定義

指針で定める「学校における過剰な苦情・不当な要求等」とは、次の３つの要素すべてを満たすものを言います。

①保護者や地域住民等からの言動
②職務の性質その他の事情に照らして社会通念上許容される範囲を超えるもの
③教職員の勤務環境などが害されること

〈学校における過剰な苦情・不当な要求等になり得るものの例〉

・そもそも要求に理由がないまたは学校における教育活動と全く関係のない要求
・学校の教育活動および学校運営の範囲を著しく超える対応を求めるもの
・対応が著しく困難または対応が不可能な要求
・相当性を欠く賠償要求
・身体的な攻撃（暴行、傷害等）
・精神的な攻撃（脅迫、中傷、名誉棄損、侮辱、暴言、土下座の強要等）
・威圧的な言動（大きな声をあげて教職員や周囲を威圧する。反社会的な言動を行う。）
・継続的、執拗な言動（同様の質問を執拗に繰り返すこと。当初の話からのすり替え、揚げ足取り。執拗な責め立てをすること。同様の電子メール等を執拗に繰り返し送り付けること。）
・拘束的な言動（不退去、居座り、監禁）

※「学校と保護者・地域住民等とのより良い関係構築のためのガイドライン」
文部科学省初等中等教育局教育職員政策課（令和8年8月28日）より引用

３　学校における過剰な苦情・不当な要求等への対応

学校における過剰な苦情・不当な要求等に該当する言動が行われた場合には、教職員と学校教育環境を守るため、組織的に対応します。

毅然とした対応を行うとともに、特に悪質と判断される場合には、警察へ通報するなど適切に対処します。

４　県立学校における過剰な苦情・不当な要求等防止への推進体制

・教職員からの相談に対応するため、相談窓口を設置
・教職員向けの研修を実施
・保護者や地域住民等への周知・啓発

滋賀県教育委員会

記 者 発 表 資 料

提供年月日：令和８年（2026 年）10 月 22 日
部 局 名 ：滋賀県教育委員会
所 属 名 ：滋賀県立信楽高等学校
係 名：教頭
担 当 者 名 ：小関 隆嗣
連 絡 先 ：0748-82-0167
E－ｍａｉｌ ：st24242116@ms.pref-shiga.ed.jp

信楽高校が目指す新たな挑戦！！

～信楽のまちから全国へ　生徒の「つくりたい！」をカタチに～

日時：令和 ８年 11 月 21 日（土）　12:00～17:00（予定）
22 日（日）　10:00～16:00（予定）

場所：ここ滋賀横イベントスペース（東京都中央区日本橋 2-7-1）

概要：　本校では、キャリア教育の一環として、本校最大の特色である「ものづくり」の環境を生かし、地域と連携しながら、生徒が商品の企画・開発・制作・販売までを一貫して担う「開発・販売の循環型システム」の構築を目指しています。この取組を通して、実社会と結び付いた探究学習やアントレプレナーシップ教育を推進し、生徒自身が地域の魅力や課題を捉え、ものづくりを通して新たな価値を創造するとともに、地域の活性化につなげることを目指しています。

今回、滋賀県内で販売し、好評をいただいている「びわこ箸置き」に加え、新たに企画・制作した「アニマルキーホルダー」（通称アニキ）を、「ここ滋賀」のイベント会場にて販売します。（※イベントの詳細については別途ここ滋賀からお知らせいたします。）

生徒たちが地域との連携の中で、心を込めて企画・制作した商品を通して、滋賀・信楽の魅力を東京から発信します。ぜひ多くの皆様に手に取っていただき、生徒たちの「ものづくり」に込めた思いを感じていただければと思います。

びわこ箸置き（全７色）



アニマルキーホルダー（アニキ）



※担当者：杉村　大樹、小西　達也、洞　勇同
連絡先：0748-82-0167

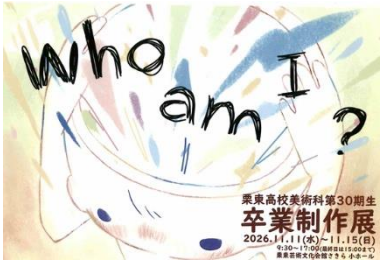
滋賀県教育委員会

記者発表資料

提供年月日:令和8年(2026 年) 10 月 22 日
所　属　名:滋賀県立栗東高等学校
担 当 者 名: 松 村 隆 行
E-mail:st24243900
@ms.pref-shiga.ed.jp

栗東高校第30期生　卒業制作展

『Who　am　I ?』



1 滋賀県立栗東高等学校美術科

県内唯一の美術科として 1995 年に設置され各学年1クラス(定員は40名)でこれまで大学の教員や画家や美術作家、イラストレーター、漫画家など多くの美術関係で活躍する人材を輩出している。

学習活動においては大学や専門学校との連携で様々な体験の機会を設けたり、地域との連携で様々な機関からデザインや制作の依頼を受け、各種イベントの公式ポスターやパンフレットの制作を行うなど地域貢献も行っている。また、授業においては教員だけではなく、大学教授、現役の美術作家、陶芸家、画家、イラストレーター、木工作家を特別非常勤講師として迎えた授業も展開されている。

2 卒業制作展

美術科では3年間の学習活動の集大成として卒業制作を行っており、その発表の場として毎年11月に卒業制作展を行っています。卒業制作展では「絵画表現」「立体造形」「クラフトデザイン」「ビジュアルデザイン」「版画」「イラストレーション」「プロダクトデザイン」など自分の専門分野で制作活動が行われており、美術科生の思いのこもった渾身の作品が展示されます。

3 開催日時

令和8年11月11日(水)～15日(日)
9:30～17:00(最終日は15:00まで)

4 会場:

栗東芸術文化会館　さきら　小ホール
栗東市綣2丁目1－28

5 対象者

学校関係者だけではなく広く一般の方にもご覧いただきたいと思います。